



# 碧の風

千葉市立川戸中学校  
校報 第2号  
令和6年5月31日

## 目的意識で変わる未来

校長 豊川 ますみ

校舎の周辺には、たくさんの草花が咲き、季節に彩を与えてくれています。土手のアジサイが色づきはじめ、職員室前の池の大賀ハスの葉が勢いよく伸びてきています。短い期間ではありますが、1年の中でも過ごしやすい季節となりました。

今回は「3人のレンガ積み職人」の話です。ドラマでも取り上げられたようなので、知っている人もいるかもしれません。中世のヨーロッパの街を旅していた人が、汗をだらだらと流しながら、重たいレンガを運んだり積み上げたりしている3人のレンガ積み職人（Aさん、Bさん、Cさん）に出会いました。旅人は3人の職人にそれぞれ「何をしているのですか？」と尋ねました。

するとAさんは「見ればわかるだろう、親方の命令でレンガを積んでいるんだよ。暑い日も寒い日も一日中働いて手はボロボロ、腰も痛くなるし、大変な仕事だよ。」と答えました。Bさんは「レンガを積んで壁を作っているんだよ。この仕事は大変だけど、仕事があることで給料をもらい、家族を養うことができるんだ。」と答えました。Cさんは「私たちは後世に残る大聖堂を造っているんだ。この大聖堂で、多くの人々が祝福を受け、悲しみがはらわれる。こんな仕事につけてとても光栄だよ。」と答えました。



この3人の職人が、どのような表情で仕事をしているかは想像が付きそうですね。同じようにレンガ積みをしているのに、どうしてこのように表情や気持ちに違いが出るのでしょうか。

それは、目的意識が違うからです。

Aさんは、ただ言われたからやる、言われなければやらない。仕事を作業としてとらえています。Bさんは、お金を稼ぐために否応なしに働いています。もっとお金を稼ぐ仕事はないかなと考えています。Cさんは、後世に残る歴史的な事業に参加して、町の人々を笑顔にするという使命を感じながら仕事をしています。

この3人の職人の10年後をみると、Aさんは、10年前と同じように文句を言いながらレンガを積んでいました。Bさんは、レンガ積みより給料は高い仕事につきましたが、危険を伴う教会の屋根の上で仕事をしていました。Cさんは、現場監督に昇進し、部下の育成なども任されるようになりました。目的意識が変われば、自分自身の仕事に対するモチベーションや周りの人の反応が変わり、未来も変わっていきます。

学校や学級では様々な仕事をみんなで分担して行っています。その仕事をしている時の、あなたの様子はどうですか？ 「やらされている」と思ってしまえば、周りの人から感謝されることも、感動を与えることも無いと思います。自分がした仕事によって、誰かの笑顔を作ることができる、そんなことを想像しながら仕事をしたほうが、自分も周りも幸せな気持ちになれると思います。

## 1年生が一斉道徳の授業を行いました

5月8日（水）、1年生が体育館で合同の道徳の授業を行いました。まず、「『平等』と『公平』の違いとは何だろう」という発問に対して、相談しながら自分たちの考えをまとめ、発表しました。次に、「どんなクラスにしたいか」という発問に対して、相談しながら「楽しいクラス」「みんなで何でも言えるクラス」など、考え合った意見を発表しました。最後に生徒全員に「いろんな生徒との関わり」についてビデオを見ながら考えてもらいました。最後の生徒の発表は、「普通って何だろうと思いました」「周りの人のことを受け入れる気持ちが大切だと思いました」などという言葉がありました。



この授業で周囲の人のことを考えるきっかけとなり、今後の学校生活で活かしながら、繋がりのある学年を作ってほしいと思います。

## 生徒総会を行いました

5月10日（金）、5・6時間目に生徒総会を行いました。生徒総会は年に1回の大きな行事で、生徒会の生徒が中心となり運営し、生徒の皆さんが、よりよい学校生活を送るために自分たちで学校の仕組みについて考える場です。



今年も川戸小学校の6年生が生徒総会を、直接体育館で参観しました。中学生が緊張感をもって、提案を聞き、承認するかを考え、挙手する様子を直接見て、生徒総会の重さを感じてもらうことができたと思います。

## 体育祭を行いました

5月17日（金）、体育祭を行いました。天気も気温も体育祭日和という天候の中で行うことができました。今年は全校生徒以上の180名近くの保護者の方々に参観していただきました。また、昨年度までと生徒応援席、保護者観覧席の位置を入れ替えての実施でしたが、観戦にはご協力いただきありがとうございました。



今年の最後の種目も「川中ソーラン」でした。全校生徒が法被をまとい、全員で踊るソーラン節は壮観でした。

## コミュニティ・スクールモデル校について

今年度より、千葉市教育委員会より川戸小中一貫教育校でコミュニティ・スクールモデル校としての指定を受けました。これにより、これまで川戸小学校、川戸中学校のそれぞれで実施していた学校評議員会を、一つにして学校運営協議会と名称を改め、新たに発足することとなりました。

この第1回学校運営協議会を生徒総会の日に実施し、学校運営協議会委員の方々に生徒総会の様子を参観していただきました。中学生の代表者が説明する姿勢、質問する姿勢、それを見ている小学生の姿勢に対して、お褒めの言葉をたくさんいただきました。

## ギガタブの更新について

現在生徒が使用しているギガタブが、令和8年度に更新される予定です。その際、どのようなソフトを利用するとよいか千葉市教育委員会が検討しています。保護者の皆様にも以前手紙を配布し、同意書を記入していただきましたが、本校でもその一環として、「スクールタクト」という学習支援ソフトを、実際に生徒が使用して授業を行っています。今後、アンケートなど協力いただくこととなりますが、ご承知おきください。